

## 公 表

### 第56回技能五輪全国大会「造園」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

#### 1 競技時間

標準時間	10時間30分
打切り時間	11時間

#### 2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (3) 工具等は各自必要と思われるものを使用してよい。ただし原則として電動工具の使用は不可とする。
- (4) あらかじめ印をしたり、定規として準備してきた用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる。
- (7) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。  
なお、保護メガネを必要とする作業においては着用すること。
- (9) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (10) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (11) 課題と図面にメモ等を書き入れて持ち込むことを禁止とする。
- (12) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (13) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

### 3 仕様

#### 3-1 石積み（野面積み）

石積用石材を使用して、図面のように石積みを行う。

#### 3-2 小舗石・レンガ・延石敷き・石張り

小舗石、レンガ、延石を図面のように土ぎめで敷設する。「乱張り」と指定された箇所は、石張り用石材を使用し、石張り（乱張り）を行う。

#### 3-3 石積み（小端積み）

石積用石材を使用して、図面のように石積みを行う。石積みには目地を設け、枠に接する部分は段逃げ（段落ち）とする。

#### 3-4 竹垣

竹、木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

#### 3-5 ベンチ

竹、木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

#### 3-6 敷石、飛び石

敷石、飛び石を図面のように土ぎめで敷設する。

#### 3-7 水鉢

水鉢を図面のように設置する。台石は、石積用石材（野面積み）から選び、水鉢を水平に設置する。水鉢には水を入れ、水草を浮かべる。

#### 3-8 植栽

高木及び中木は、図面のような感じになるよう土ぎめで植栽する。低木は、石積みの背後の指定箇所に修景を考慮し植栽する。

#### 3-9 草花植栽

支給された下草・花を、指定された区画に修景を考慮して植栽する。

#### 3-10 芝の植付け

目地なし、目土なしで、図面のように施工する。

#### 3-11 地均し・整地

ていねいに仕上げること。

#### 3-12 片付け

道具を整理し、ゴミをまとめておくこと。

また国際大会に準じて、次の2点を実施する。

①モジュール採点を行う。競技1日目（11月3日）の12：30までに、仕様3-1～3-2を、作業終了時までに、仕様3-3～3-4を完成させること。以上の工程を競技1日目（11月3日）に採点する。

②競技前日、課題の一部を変更する。11月2日の課題説明時に、変更内容を公表する。

4 支給材料（1組分）

品 名	寸法又は規格 (mm)	数 量	備 考
石積用石材（野面積み）	Φ100～500 内外	1トン	沖縄県産 琉球石灰岩
石積用石材（小端積み）	600×100× 70	14本	御影石
	600×100× 30	10本	
小舗石（サビ色）	90× 90× 90	205個	
小舗石（白色）	90× 90× 90	175個	
レンガ	210×100× 60	15個	
延石	600×100× 70	2本	
石張り用石材（乱張り）	600×300× 15	11枚	御影石
飛び石	Φ200～500 内外	9個	野面積み用石材を流用
敷石	600×300× 50	6枚	御影石
水鉢	Φ300～350 内外	1個	
竹垣、ベンチ用 角材	90× 90×3000	3本	
竹垣用 枠木	38× 19×1200	4本	
竹垣、ベンチ用 平板材	89× 19×3650	4枚	
竹垣、ベンチ用 唐竹	4節上り 回り 70mm～90mm内外	7本	
竹垣、ベンチ用 L型金具	60×60	13個	
ベンチ用 平金具	3×19×70	3個	
竹垣、ベンチ用 ビス	38mm	115本	
	50mm スリムタイプ	45本	
竹垣、ベンチ用 シュロ繩	径3mm 長さ 37m	1束	
高木	H 2500 程度	1本	
中木	H 1800 程度	1本	
中木	H 1500 程度	1本	
低木	H 600 程度	5本	
低木	H 300×W300 程度	12株	
水草		1株	
下草・草花		35ポット	
コウライ芝	切芝	7束	
客土		1m <sup>3</sup>	

## 5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参して良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用できない。  
ただしベンチ及び木柵施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

## 6 その他の注意事項

- (1) ベニヤ板を2枚支給するので自由に使用して良い。
- (2) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (3) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (4) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

## 7 競技日程

11月2日（金）	下見・説明	集合9時30分、	開始10時、	終了11時30分
11月3日（土）	競技	集合8時、	開始8時30分、	終了16時30分
11月4日（日）	競技	集合8時、	開始8時30分、	終了12時00分（標準時間）
				打切り12時30分（打切り時間）
解体撤去				14時30分～15時30分

## 8. 採点項目及び配点

採点項目		配点
作品採点	客観評価	30点
	出来栄え	50点
作業時間採点（経過時間に応じて減点）		10点
作業態度採点		10点
工具の取り扱い		
安全作業		
仕様書・図面の理解		
作業現場の清潔さ		